

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 令和8年3月15日
調査研究事項	以下のⅠ～Ⅴのいずれであるかを記載した上で、研究テーマを明記する。 Ⅰ. 教育課程、教育環境整備に関すること
調査研究のねらい	<p>○ 本市夜間学級に在籍する生徒の約9割は外国籍である。多くの外国籍生徒の実態として、日本語を基礎から学ぶ必要があり、国籍・母語も多様で年齢層も幅広く、個々の学習歴や文化的背景及び就労状況や家庭状況も様々である。</p> <p>戦後間もなく設置された本市夜間学級はこれまで多くの生徒の学び直しを保障してきた歴史がある。</p> <p>日常会話に留まらない学習言語の獲得に向けた指導の充実に向けて、市内2校ある夜間学級間の連携や本市日本語指導拠点校等との連携に加えて、地域や昼間の学校との連携を図る必要がある。</p> <p>このため、昨年度に引き続き、中学校間の連携や大学教授を招聘した研修会を実施し、個々の生徒の学習状況や学習目的などのニーズに応える日本語の指導内容や指導方法の在り方について、これまでの実践や蓄積を再整理し、より発展させていく。</p> <p>具体的には、生徒の中学校での学びを支える個別のカリキュラムシートを活用し、教科指導の過程で日本語の定着を図るためにグループ活動を意図的に仕組むなど、効果的な指導方法の改善や教育環境の整備充実を図る。</p> <p>また、校外での体験活動を計画することで、事前に日本語による調べ学習を行い、事後に体験したことを日本語で発表し合うことで、コミュニケーション能力の育成を目指す。</p> <p>こうした研究を通じて、今後さらに重要性が高まり、ニーズが多様化するであろう夜間学級、夜間中学の全国的な設置促進、充実に資する発展的な先進事例を創出し、その成果や課題の共有を図る。</p>
調査研究の成果	<p>【広島市立二葉中学校】</p> <p>【広島市立観音中学校】</p> <p>成果報告書のとおり</p>